

# Grand Cube

## Business Report 2025



グランキューブビジネスレポート

2025.4.1-2026.3.31

株式会社 **大阪国際会議場**

## ごあいさつ

### Top Message

平素より当社事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年度は、「2025年大阪・関西万博」が開催され、夢洲の会場は大盛況となりました。当会議場におきましても、1日17,000人を迎え、当会議場をはじめ中之島のMICE施設が協力して開催した「第70回日本透析医学会学術集会・総会」や海外参加者が3,200人を数えた「SCA/HPC Asia 2026」、また、国家元首が参加される国際的ビジネスイベントなど多彩な国際的な会議が数多く開催されました。

この結果、2025年度に当会議場で開催された国際会議の件数は、開業以来最高の73件に達しました。

同時に、データに基づく企業・団体や大学等へのマーケティングにより営業成績の向上に努め、売上高、営業利益とも計画を超過達成することができました。

2026年度からは、大阪府・大阪市・大阪商工会議所で構成する「OSAKA国際会議助成実行委員会」による「OSAKA国際会議助成金制度」がスタートします。大阪で国際会議を開催される主催者に最高3000万円の助成を行う画期的な制度で、当社といたしましても、これまで築いてきたネットワークと蓄積した国際会議のノウハウに加え、この制度を最大限活用したいと考えております。

当社は、当会議場が「アジアで有数の都市型MICE施設」となり、大阪が「アジア・大洋州地域でトップクラスのMICE都市」となることを目指して、社員一同、全力を尽くしてまいります。

皆様には、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

2026年6月

株式会社 大阪国際会議場

代表取締役社長

**藤田 正樹**

## 経営理念

私たちは、大阪府立国際会議場を世界の人・モノ・情報が行き交う総合交流施設として運営し、大阪の発展と国際化に貢献してまいります。

## 経営ビジョン

アジアで有数の都市型MICE施設を目指します。

## OICC WAY (行動指針)

1. 私たちは、お客様の安全・安心を追求し続けます。
2. 私たちは、お客様の立場で行動し、信頼を勝ち取ります。
3. 私たちは、世界からお客様をお迎えします。
4. 私たちは、お客様に最適なサービスを提供するため、建物・設備機器を大切にします。
5. 私たちは、自己の育成を図り、チャレンジします。
6. 私たちは、チームワークを大切にします。
7. 私たちは、社会のルールを守り市民の一員としての責務を果たします。
8. 私たちは、地球環境の保全に取り組みます。

## コーポレート スローガン



(注)MICEとは、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称でMは企業等の会議(Meeting)、Iは企業等の  
行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、Cは国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、Eは展示会・見本市、  
イベント(Exhibition/Event)の略です。

## Contents

決算レポート	1
営業の概況	2
財務諸表	5
主な催事の開催状況	6
設備投資の概要	10
サステナビリティの取組み	11
対処すべき課題	12
企業データ	13

# 決算レポート

Financial Report

## 事業の経過及び成果

当期は、「2025年大阪・関西万博」が4月13日から10月13日の184日間にわたり開催されたEXPO YEARでした。夢洲の会場には158カ国・地域、7国際機関のパビリオンが立ち並び、国内外から2900万人以上が訪れ、大盛況で幕を閉じました。

当会議場におきましても、国際会議や国際ビジネス交流会等、多彩かつグローバルな催事が開催され、海外からも、国家元首や閣僚を含め2万5千人を超えるお客様をお迎えしました。また、国際会議等の催事後、アフターコンベンションとして、多くの来場者が夢洲の万博会場を訪問されました。

この万博の機会を活かし、国際的なMICEの誘致に注力した結果、当期開催された国際会議の開催件数は、開業以来最多の73件となりました。また、全館を利用される大型催事も、過去最高の19件・62日間、開催いただきました。

これは、大規模な医学会の誘致に向けた地道な訪問営業やネットワークづくり、自然科学系学会への積極的な誘致の成果と自負しております。

このように多彩な国際会議や国際的イベントの開催をいただき、高度な国際会議対応に関するノウハウを習得するとともに、コアPCO等海外との人的ネットワークの形成にも着手しています。さらに国際会議を開催する場としてふさわしいサステナビリティへの取組みも緒に就く等、当会議場の国際化が一段と進化しています。併せて、関係企業等と連携し、中之島の魅力を発信・PRするよう努めています。

事業売上高につきましては、2024年度に引き続き、過去最高\*となる約21億7千万円となり、当期の純利益は3億円を超えることとなりました。

当社は、大阪と当会議場とが得られた万博のレガシーを活かして、当会議場が「アジアで有数の都市型MICE施設」に向け、引き続き「すべてのお客様にご満足いただける空間を提供したい」という思いで運営してまいります。また、大阪府・市・経済団体等と連携して、2025年大阪・関西万博の成果を踏まえ、「アジア・大洋州地域でトップクラスのMICE都市大阪」の実現を目指し、中心的な役割を果たしてまいります。

\*大規模ワクチン接種センターが設置された2021年度を除く。

## 営業の概況

### Review of Operations

#### 【営業成績の内訳】

(単位：千円)

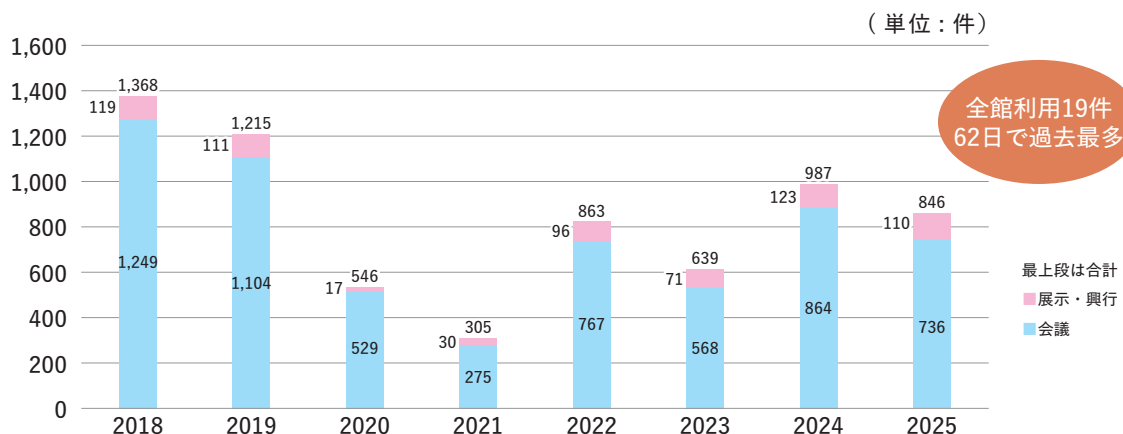
項目\期別	2025年度 (当期)	2024年度 (前期)	比較
施設事業収入	1,418,086	1,267,252	111.9%
（施設利用料）	(1,363,777)	(1,187,043)	114.9%
（キャンセル料）	(20,910)	(43,633)	47.9%
（テナント料）	(33,399)	(36,576)	91.3%
サービス事業収入	751,107	679,123	110.6%
（備品利用料）	(334,113)	(302,640)	110.4%
（催事サポート料）	(225,251)	(204,250)	110.3%
（売上管理手数料）	(127,053)	(114,657)	110.8%
（駐車場利用料）	(50,162)	(47,255)	106.2%
（その他）	(14,526)	(10,319)	140.8%
事業売上小計	2,169,194	1,946,376	111.4%
受取地代収入	409,224	300,708	136.1%
その他の営業収入	8,418	9,741	86.4%
合計	2,586,836	2,256,826	114.6%

#### 【損益の推移】

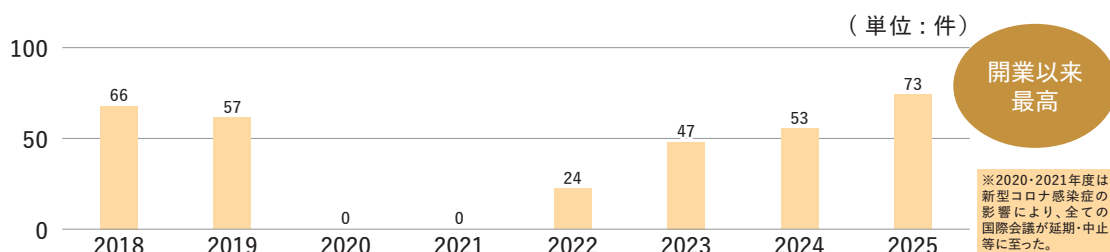
区分	年度	2022年度 (第74期)	2023年度 (第75期)	2024年度 (第76期)	2025年度 (第77期)
売上高 (千円)		1,928,307	1,519,635	2,256,826	2,586,836
経常利益 (千円)		▲197,646	▲699,803	73,675	374,887
当期純利益 (千円)		▲198,068	▲581,276	113,615	325,583
1株当たり当期純利益 (円)		▲166.19	▲487.77	95.34	273.21
総資産 (千円)		5,672,234	5,317,927	5,395,695	5,681,301
純資産 (千円)		4,337,338	3,757,032	3,802,692	4,058,732
1株当たり純資産 (円)		3,639.37	3,152.71	3,191.03	3,405.89

\*2023年度は大規模修繕工事により12月から3月まで全館休館。

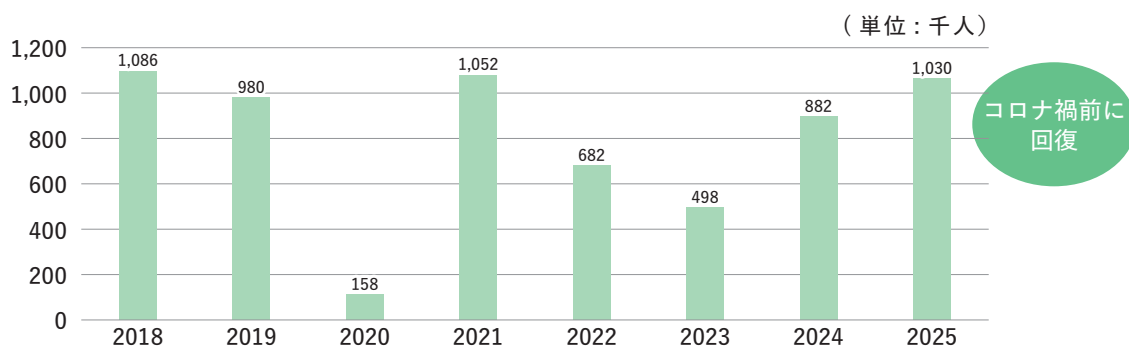
## 【催事利用状況】



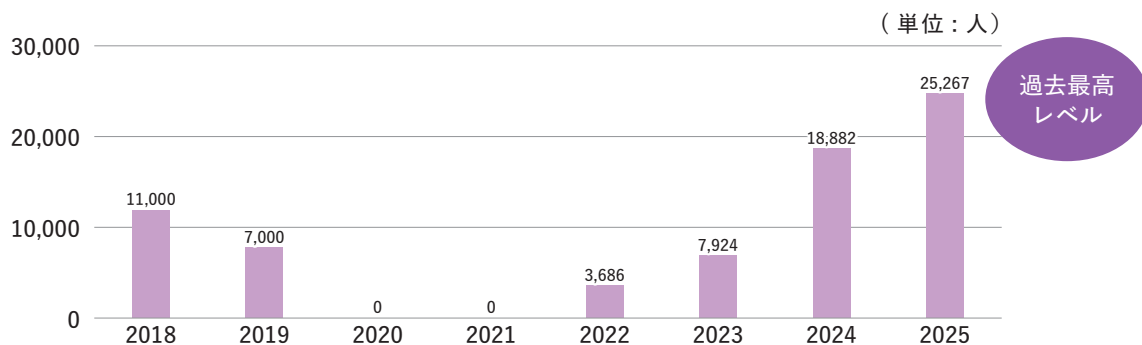
## 【国際会議開催状況】



## 【来館者数の推移】

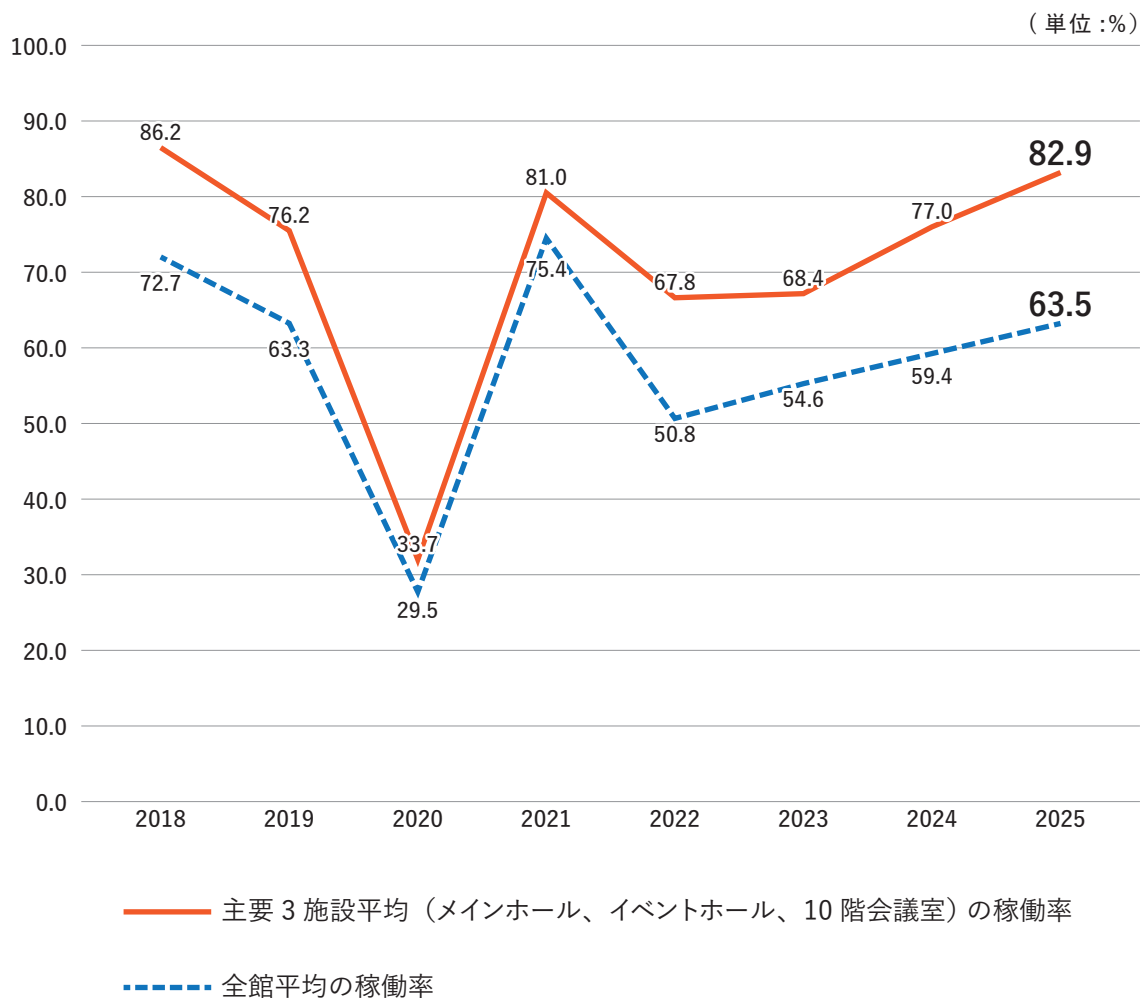


## 【海外からの来館者数の推移】



※2021年度は、自衛隊大規模ワクチン接種センター設置。2023年度は大規模修繕工事により12月から3月まで全館休館。

## 【催事利用状況】



(単位: %)

年度 \ 会場	メインホール ①	イベントホール ②	10階会議室 ③	主要3施設平均 (①+②+③) ÷ 3
2018	82.7	92.5	83.5	86.2
2019	72.3	83.9	72.4	76.2
2020	17.2	43.1	40.9	33.7
2021	77.5	85.3	80.1	81.0
2022	72.5	70.1	60.7	67.8
2023	62.3	74.6	68.4	68.4
2024	76.1	83.9	70.9	77.0
2025	86.6	87.5	74.6	82.9

※2021年度は、自衛隊大規模ワクチン接種センター設置。2023年度は大規模修繕工事により12月から3月まで全館休館。

# 財務諸表

## Financial Statements

### 【貸借対照表概要】（2026年3月31日現在）

（単位：百万円）

科目	2025.3	2026.3	増減	対比%	科目	2025.3	2026.3	増減	対比%
資産の部					負債の部				
流動資産	2,266	3,242	975	143.1%	流動負債	1,543	1,567	21	101.4%
現金及び預金	1,929	2,018	88	104.6%	買掛金	89	84	△ 5	94.1%
売掛金	130	93	△ 36	71.9%	未払費用	83	87	3	104.6%
有価証券	200	1,115	915	557.8%	未払金	815	797	△ 18	97.8%
未収収益	7	11	3	141.6%	契約負債	422	457	35	108.3%
貸倒引当金	△ 4	0	3	19.2%	固定負債	49	55	6	112.9%
固定資産	3,129	2,438	△ 690	77.9%	負債合計	1,593	1,622	29	101.9%
有形固定資産	126	124	△ 1	98.7%	純資産の部				
土地	121	121	-	100.0%	株主資本	3,974	4,276	301	107.6%
工具器具備品	3	2	△ 1	60.0%	資本金	600	600	-	100.0%
無形固定資産	22	14	△ 7	65.4%	利益剰余金	3,379	3,680	301	108.9%
投資その他の資産	2,980	2,300	△ 681	77.2%	自己株式	△ 4	△ 4	-	100.0%
投資有価証券	2,911	2,218	△ 693	76.2%	評価・換算差額等	△ 172	△ 218	△ 45	126.5%
繰延税金資産	48	59	10	121.6%	純資産合計	3,802	4,058	256	106.7%
資産合計	5,395	5,681	285	105.3%	負債純資産合計	5,395	5,681	285	105.3%

※勘定科目は主要項目のみ記載。また、金額は百万円未満を切り捨て。

### 【損益計算書】（2025年4月1日から2026年3月31日まで）

（単位：千円）

科目	2024年度（第76期）	2025年度（第77期）	前年比
売上高	2,256,826	2,586,836	114.6%
売上原価	1,909,454	1,920,996	100.6%
売上総利益	347,371	665,840	191.7%
販売費及び一般管理費	323,831	337,722	104.3%
営業利益	23,539	328,117	1393.9%
営業外収益	50,220	46,770	93.1%
営業外費用	85	0	-
経常利益	73,675	374,887	508.8%
特別利益	-	-	-
特別損失	-	-	-
税引前当期純利益	73,675	374,887	508.8%
法人税、住民税、事業税	8,901	59,954	673.6%
法人税等調整額	△ 48,841	△ 10,650	-
当期純利益	113,615	325,583	-

※金額は千円未満を切り捨て。

## 主な催事の開催状況

Main Events in 2025

2025年度開催催事数:合計846件 内 全館利用は19件(62日)

国際会議73件\*(うちICCA基準該当5件)

\*このほかに2カ国間会議5件が開催。

国内会議・イベント663件、展示会29件、興行81件

### 【主な全館利用の国際会議】

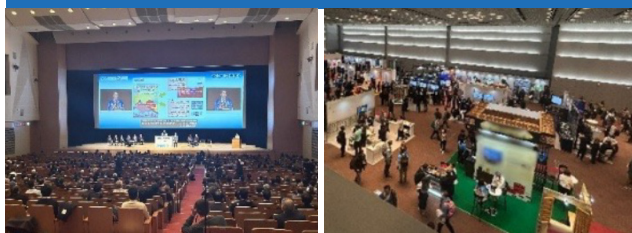
#	催事名称	開催月	国数	延参加者	内海外	備考
1	第66回日本神経学会学術大会	5	25	12,150 <sup>(人)</sup>	400 <sup>(人)</sup>	
2	2025年度人工知能学会全国大会(第39回)	5	30	8,650	600	
3	第70回日本透析医学会学術集会・総会	6	10	52,050	120	
4	第25回日本抗加齢医学会総会	6	10	16,300	90	
5	第79回日本臨床眼科学会	10	5	32,100	80	
6	第78回日本胸部外科学会定期学術集会	10	11	11,210	75	
7	SCA/HPC Asia 2026 (ハイパフォーマンスコンピューティングに関する国際会議)	1	15	4,850	3,200	
8	第56回日本人工関節学会	2	3	5,660	6	

### 第70回日本透析医学会学術集会・総会



1日約17,000人が参加された第70回日本透析医学会学術集会・総会(6月開催)については、「中之島エリアMICE」として取り組み、当会議場を中心として中之島の5施設で3日間にわたり開催。これにより、当会議場の規模を超えるMICEであっても、エリア全体で開催できることを実証。

## SCA/HPC Asia 2026



日本初のSupercomputing Asia(SCA)とThe International Conference on High Performance Computing in Asia-Pacific Region(HPC Asia)が合同開催。

世界各国から約2,500名以上が参加し、HPC分野、AI分野、量子コンピューティング(QC)分野の著名な研究者の基調講演をはじめ、約100ものスポンサー企業、研究機関による展示やセッション、交流会など充実したプログラムを実施。

### 【主な国際会議】

#	催事名称	開催月	国数	延参加者	内海外	備考
1	第122回日本内科学会総会・講演会	4	2	16,078 <sup>(人)</sup>	12 <sup>(人)</sup>	
2	第61回日本周産期・新生児医学会学術集会	7	4	9,514	14	
3	Asia Pacific Congress in Maternal Fetal Medicine 2025 (アジア太平洋母体胎児医学会議 2025)	11	10	1,627	387	
4	STROKE2026 (脳卒中に関する医学会)	3	3	21,120	18	

### 【主な国際会議・イベント】

#	催事名称	開催月	延参加者	備考
1	追手門学院大学入学式	4	3,530 <sup>(人)</sup>	
2	ダイキン工業株式会社新入社員導入教育	4	1,260	
3	パナソニックインダストリー株式会社新入社員研修	4	420	
4	京阪ホールディングス株式会社 第103回定時株主総会	6	388	
5	全国マル中会 70周年記念大会	6	1,550	全館
6	令和7年度ユニオン・ルーキーズセミナー・パートI (関西電力労働組合)	7	595	
7	第5回 全国高校 軽音楽部大会 we are SNEAKER AGES 全国大会	12	2,800	
8	株式会社フジオフードグループ本社 第27回株主総会	3	1,550	

## 【主な展示会】

#	催事名称	開催月	延参加者	備考
1	『伝統と創意』第79回日本書芸院展	4	10,250 <sup>(人)</sup>	
2	ポタフェス 2025 大阪	5	1,800	
3	平田感謝祭オレンジフェア 2025	6	4,150	
4	DAIKEN80周年記念展示会 EXPAND THE FUTURE ～ DAIKEN Try Angle フェア～	7	3,200	
5	パナソニックサイクルテック株式会社 夏の商談会	7	700	
6	第16回ヒロセ技術展	11	4,300	
7	SUPER BOX 2025 (パナソニックの建築設備等展示会)	12	6,300	
8	大塚商会実践ソリューションフェア 2026 大阪	2	6,300	



## 【主な興行】

#	催事名称	開催月	延参加者	備考
1	松山千春コンサート・ツアー 2025 「君の明日」	6	2,700 <sup>(人)</sup>	
2	バレエスーパーガラ 2025	7	1,400	
3	オフィスへのホールディングス社員限定 『OFFICE NINO HOLDINGS FAN MEETING 2025 "Show Case"』	9	4,800	
4	日韓国交正常化60周年記念 「THE HARMONY 60th」	11	5,200	
5	プロスピA ファンフェスタ 2025 シーズン in 大阪	12	2,600	
6	TUBE 40th × FM 大阪 55th anniversary TUBE LIVE AROUND 2025-2026 Keep On Sailing	1	5,200	
7	ディズニープリンセス - ザ・コンサート 2026	2	2,600	
8	菊池風磨 おふうかい Vol.3	3	7,800	

## 【2025年大阪・関西万博関連の国際会議等】

#	催事名称	開催月	区分	延参加者 (人)	内海外	備考
1	ロータリー大阪・関西万博開幕祭	4	国内	1,850	0	
2	タカラベルモントグループパートナーズ コンベンション	4	国内	477	88	
3	一般社団法人日本ガス協会理事会	5	国内	45	0	
4	日・ケニアハイレベル・ビジネスフォーラム	6	国際	200	100	
5	一般社団法人日本コンベンション協会(JCMA) 第10期(2024年度)社員総会	6	国内	200	0	
6	英国グレーター・マンチェスター&大阪 新たなビジネス連携の創出	6	2カ国	100	40	
7	北ドイツのイノベーション先進都市・ ハンブルクのビジネスチャンス	6	2カ国	70	30	
8	Study × PLAS: Asia Art Fair	7	国内	8,000	2,000	
9	CIGRE SC B5 2025 Osaka Colloquium (電力システムに関する国際会議)	7	国際	1,130	480	
10	SHIMADZU 4th GLOBAL FOOD SUMMIT 2025	7	国内	210	93	
11	DAIDO CONNECT FAIR 2025 - 技術をつなぐ、未来へつなぐ -	8	国内	4,800	0	
12	セネガル・ビジネスフォーラム	8	国際	350	50	
13	サステナブルシーフード・サミット 2025	9	国内	450	220	企業主催
14	MedTech Actuator Showcase Japan 2025	9	国際	280	75	



## 設備投資の概要

### Overview of Capital Investment

目的	項目	金額（千円）
安全・安心	消火設備容器弁の取替工事	19,000
	建物安全評価システム	8,600
	B1 階車寄防煙垂れ壁補修工事	1,910
	ベビーキーパー等取替工事	4,900
	ゴンドラ改修工事	3,800
	3 階天井ルーバー落下防止対策工事	3,500
	電話交換機録音告知装置取付	2,810
快適な会議環境	ビデオプロジェクター更新	11,790
	10 階タイルカーペット張替	10,500
	メインホール音響設備バックアップシステム構築工事	9,990
その他	駐車場管制システム・データ集計装置更新工事	6,200
	空気調和機熱交換器殺菌灯取付	2,334
	駐車場内表示器 LED 化工事	1,880
	駐車場入口表示改修工事	1,860
	厨房機器取替工事	1,560
	その他	31,596
合計		122,231

#### メインホール音響設備のバックアップ



4月に開催された日本内科学会において不具合が生じたことから、再発を防止するため、バックアップ用機器(上記点線部分)を設置した。

#### カーペットの更新、特別清掃



10階のロビー等のタイルカーペット全面を張り替えた。また、イベントホールのタイルカーペットを特別清掃した。

## サステナビリティの取り組み

Actions for Sustainability

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

大阪国際会議場は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

### サステナブルなMICE開催に向けた取り組み

グランキューブ大阪では、2025年4月に策定したサステナビリティ方針に基づき、MICE施設としての事業活動を通じた持続可能な社会への貢献を進めています。2025年度は、主催者のサステナブルな催事開催を支援するため、CO<sub>2</sub>排出量の見える化やフードバンクへの寄付支援など、具体的な取り組みを開始しました。

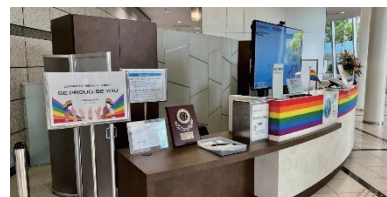
#### テーマ01:環境負荷の最小化 主催者向けCO<sub>2</sub>排出量レポートの提供



当館で開催される催事・会議について、会場使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量を試算し、主催者向けレポートとして提供する取り組みを開始しました。催事で使用する会場面積や使用時間などをもとに環境負荷を見える化し、2025年6月より国際会議等を中心に提案・提供を行っています。

#### テーマ03:安全で開かれたMICE環境の提供 プライド月間におけるレインボーフラッグの掲出

大阪観光局が進めるLGBTQ+ツーリズム推進の取り組みに賛同し、プライド月間期間中、1階総合受付カウンターにレインボーフラッグを掲出しました。多様な来場者を尊重し、誰もが安心して利用できるMICE環境づくりの一環として取り組んでいます。



#### テーマ04:地域社会への貢献 フードバンクへの寄付支援



催事で余剰となった未使用・未開封の食品等について、主催者の意向を確認したうえで、地域のフードバンク等への寄付につなげる仕組みを整備しました。食品ロスの削減に加え、地域福祉や子ども食堂等への支援にもつながる、MICE施設ならではの地域貢献として取り組みを進めています。

### 今後の重点課題

今後は、催事ごとの廃棄物情報の見える化、多様性に配慮したフードサービス、地産地消の推進、設備更新等による省エネルギー化などを重点課題として、パートナー企業と連携しながら、サステナブルMICEを支える取り組みをさらに具体化していきます。

## 対処すべき課題

### Challenges Ahead

第77期は、「2025年大阪・関西万博」の開催年度にあたり、当社においても73件の国際会議をはじめとする多彩なMICEが開催されました。

第78期は、この成果の上に立ち、新たに設けられた「OSAKA国際会議助成金制度」を最大限活用する等、国際会議の誘致・開催に注力いたします。第78期はすでに多くの施設利用のご予約をいただいております、その一層の増大に努めるとともに、お客様のニーズに応じた備品や催事サポートサービスの提供を的確に行うことにより、3期連続の過去最高売上を目指します。

また、長期的な視点に立った学会や大型展示会の誘致、ロイヤルカスタマーの拡大に努めます。さらに、社員のエンゲージメント向上と管理者層の育成を図ってまいります。

### 第78期（2026年度）事業計画

区分	事業期	第78期（2026年度）計画
売上高		2,581百万円
営業費用		2,378百万円
営業利益		203百万円

# 企業データ

## Company Data

### 会社概要

商号	株式会社 大阪国際会議場 (英文社名 Osaka International Convention Center Corp.)
所在地	〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号 TEL : (06)4803-5555(代) / FAX : (06)4803-5620
資本金	6億円(授權資本金 10億円)
設立	昭和33年8月9日 (Aug9,1958)
主要な事業内容	1.国際会議及び国内会議並びに文化、学術、芸術等各種催物の企画、誘致及び開催 2.内外商品等の見本市及び展示会の企画、誘致及び開催 3.大阪府立国際会議場の会議施設及び展示場並びにこれらに附帯する施設、設備機器、備品等の賃貸及び管理運営並びに駐車場、飲食店の管理運営 4.旅行業法に基づく旅行業

### 会社の沿革

1958年8月	当社の前身となる株式会社大阪国際貿易センター設立。 国際貿易センターを建設・管理運営するため、大阪府及び関西経済界の共同出資により第三セクターが設立される。
1960年4月	大阪国際貿易センターが開設。 現在地に我が国初の総合商品常設展示場・催し物会場としてオープン。その後35か年にわたり、輸出向け商品の常設展示、紹介事業を通じて、大阪の産業貿易振興に貢献してきた。
1994年1月	現在地に、新たに第一級の国際会議が可能なコンベンション機能を備えた府立の国際会議場を建設することを、四者(府、市、関経連及び大商)が合意。
1994年6月	府からの申し入れを受け、当社が新たに建設される府立国際会議場の管理運営を受託することを決定。
1998年9月	商号を、株式会社大阪国際会議場に変更。
2000年4月	大阪府立国際会議場がオープン。当社が当国際会議場の管理運営を受託。 開業以来現在まで大阪府立国際会議場の管理運営を受託。
2006年4月	指定管理者制度が導入され、当社が大阪府立国際会議場の指定管理者に決定。
2014年4月	大阪府との間で管理運営業務契約を締結。当国際会議場の指定管理者として、5年間の管理運営業務を開始。
2019年4月	大阪府との間で管理運営業務契約を締結。当国際会議場の指定管理者として、10年間の管理運営業務を開始。
2020年4月	大阪府立国際会議場開業20周年を迎える。
2023年12月	開業以来初めて全館休館を伴う大規模修繕工事を実施(～2024年3月)
2025年4月	大阪府立国際会議場開業25周年を迎える。

## 役員の状況

(2026年6月30日現在)

地 位	氏 名	担当又は他の法人等の代表状況等
代表取締役社長	藤田 正樹	
専務取締役	播本 裕典	
取締役(常勤)	森岡 勲	
取 締 役*	井上 礼之	ダイキン工業株式会社 名誉会長 グローバルグループ代表執行役員
取 締 役*	小川 理子	パナソニックホールディングス株式会社 執行役員
取 締 役*	加藤 好文	京阪ホールディングス株式会社 代表取締役会長 取締役会議長
取 締 役*	佐藤 友美子	学校法人追手門学院 理事
取 締 役*	檜原 誠慈	東洋紡株式会社 取締役会長
取 締 役*	槇山 実果	関西電力株式会社 執行役常務
取 締 役*	松阪 博文	大阪府 府民文化部長
取 締 役*	宮崎 寛	カナデビア株式会社 常勤顧問
取 締 役*	山口 信彦	大阪府 副知事
常勤監査役*	泉 薫	弁護士
監 査 役*	沖原 隆宗	株式会社三菱UFJ銀行 特別顧問
監 査 役*	小坂 肇	株式会社奥村組 副社長執行役員
監 査 役*	道岡 俊浩	株式会社三井住友銀行 代表取締役副頭取執行役員

(注)\*は会社法第2条第15号に定める社外取締役、又は、同法第2条第16号に定める社外監査役です。

## 株式の状況 (2026年3月31日現在)

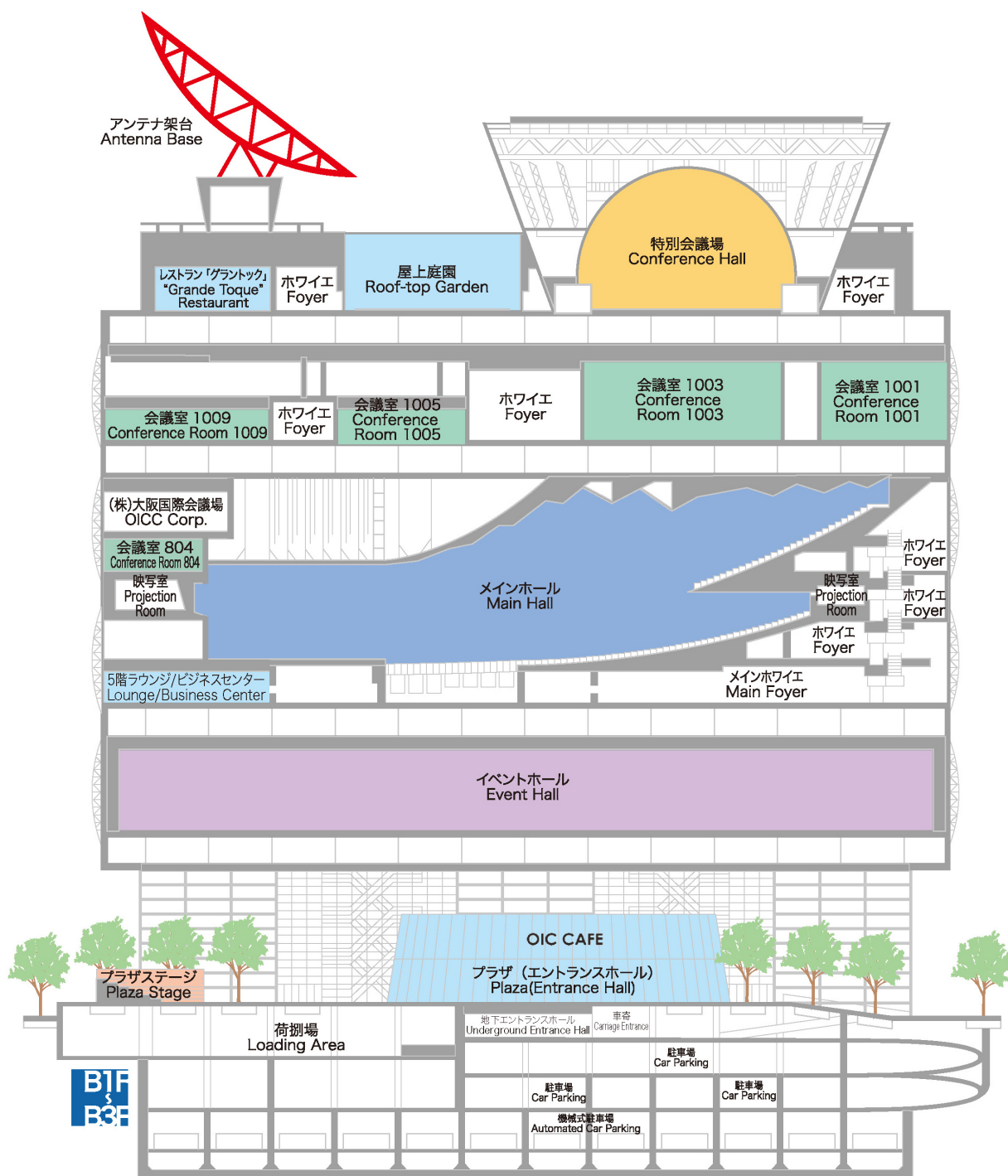
- |              |                                |
|--------------|--------------------------------|
| (1) 発行可能株式総数 | 普通株式 2,000,000株                |
| (2) 発行済株式総数  | 普通株式 1,200,000株 (うち自己株式8,320株) |
| (3) 株 主 数    | 255名 (自己名義株式保有の当社を含む)          |
| (4) 大 株 主    |                                |

株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況	
	持 株 数(千株)	持 株 比 率(%)
大 阪 府	600	50.35
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	34	2.85
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	28	2.36
カ ナ デ ビ ア 株 式 会 社	28	2.35
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	24	2.01
関 西 電 力 株 式 会 社	23	1.95
株 式 会 社 本 郷 会 計	22	1.92
株 式 会 社 り そ な 銀 行	22	1.85
株 式 会 社 ク ボ タ	20	1.69
パ ナ ソ ニ ッ ク ホ ー ル デ ィ ン グ ス 株 式 会 社	20	1.68

\*株式比率は発行済み株式の総数から自己株式を除いて算出

## (参考) 施設の概要

### Main Facilities



名称	大阪府立国際会議場	敷地面積	約10,000㎡
愛称	グランキューブ大阪	建築面積	約6,700㎡
設計	黒川・イプスタイン・アラップ共同企業体	延床面積	約67,000㎡
オープン	2000年4月	構造	鉄骨造 (BF 鉄骨鉄筋C造)
		建築主体	大阪府

# memo

A large rectangular area with a solid blue header at the top containing the word "memo". Below the header is a white space with horizontal dashed lines, resembling a memo pad or a form for taking notes.



**グランキューブ大阪**

Osaka International Convention Center

(大阪府立国際会議場)

株式会社 **大阪国際会議場**

OSAKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER CORP.

〒530-0005 大阪市北区中之島5丁目3番51号

Tel.06(4803)5555 Fax.06(4803)5620